

離床センサー Vol.104 2018.3

現場レポート!



離床センサーをお使いの現場からレポートいたします!

兵庫県・N病院様の導入例とその効果について

【使用センサー】 コールマット・コードレス × 10台 / コールマット・徘徊コールⅢ × 29台
 トイレコール・ハイパー × 8台 / ベッドコール・コードレス × 5台
 赤外線コール × 16台

Q. 離床センサーの選択基準やルールはありますか？

入院時など患者様の变化に際してアセスメントスコアシートを参考にしながら、必ずカンファレンスを行って機種を選択しています。テクノスジャパンの「離床センサー選定フローチャート」や「ワークショップ」を利用して選択基準や活用方法を参考にしています。

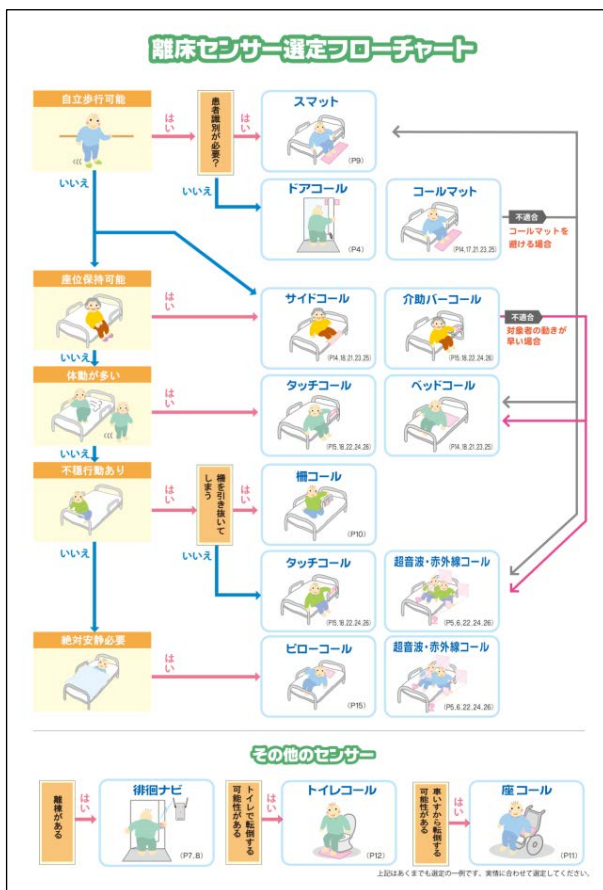


【カンファレンス風景】

Q. 離床センサー導入後の効果を教えてください。

「徘徊コールⅢ」は、特にADL・行動意欲が高い患者さんの転倒防止対策で使用しており、インシデント報告数は年々減少しています。

「コールマット・コードレス」も使用頻度が高いですね！コードレスなので、同病室内に自由に設置ができることからベッド周りに設置して、転倒事故を未然に防ぐだけでなく、出入口に設置して離室行動を把握できるので助かっています！



【離床センサー選定フローチャート】

Q. 管理方法や収納場所はどのようにしていますか？

また、保管方法について工夫がありましたら教えてください。

病棟単位で割り振って管理しています。使用時には必ず使用者名・使用センサー・使用場所などの貸出表に詳細を記入してから使用するしくみとなっています。

各センサーの保管はセットごとに合わせた番号シールを貼って同じ番号の箱に入れて保管場所におくように決めています。保管する間もないくらいに稼働しているのが現状です。

